

題材の目標

- (1) 顔の角度や表情、しぐさ、色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、身近な人のよさや印象などを全体のイメージで捉えることを理解することができる。材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表現することができる。
- (2) 身近な人を見つめ感じとった特徴などを基に主題を生み出し、構図を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。造形的なよさや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な人の特徴などを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表現したりする表現の学習活動に取り組もうとする。美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

【準備等】画用紙、ワークシート、アイデアスケッチ、タブレット端末、筆記用具

学 習 活 動	留 意 項 な ど
<p>1 参考画像を鑑賞する。</p> <p>★人柄や心情は何から感じられるのかを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○描かれた人物の人柄や心情を考える。 ○教科書の参考作品から作品を選び、見て感じた人柄や心情をワークシートに記入する。 <p>○互いにポーズを取り合い、いろいろな角度から仕草や表情を見て、表現したいことをワークシートに記入する。</p> <p>○人柄をどのように表現するのか、描画材料とともに考え、ワークシートに記入する。</p> <p>2～4 主題を決め、構想を練り、制作する。</p> <p>★対象となる人を人柄のわかる人物画で描こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○なぜ描きたい人物なのかと、その人物の人柄をワークシートに記入する。 ○人柄に合った色彩や背景、描画材料を考え、アイデアスケッチを完成させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ストリング ・デカルコマニー ・マーブリング ・ドリップング ・吹き流し ・スパッタリング ○描画材料や表現方法を工夫して、着色する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の2次元コードを読み取らせ、人柄や心情をどんなことから感じ取れるのかや、感じ取った心情をどのように表現しているのかを参考にさせる。 <p>【評】造形的なよさや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】造形的なよさや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える鑑賞の学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「造形的な視点」に気付かせる。 ・どんな性格で、どんなことが好きかマッピングを使ってたくさん考えさせる。 ・考えた人柄を表現するための描画材料を教科書p 62、63を参考に考えさせる。 ・描く人物の性格と、色彩のもつイメージとを合わせて考えさせる。 <p>【評】色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に印象など全体のイメージで捉えた制作を行う活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書p 62、63を参考に、さまざまな技法を取り入れて考えた人柄を表現させる。 <p>【評】材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えた表現活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】身近な人を見つめ感じとった特徴などを基に構図を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現するための構想を練る制作活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】身近な人の特徴などを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表現したりする表</p>

5 鑑賞会を行う。

- ★お互いの制作から、その人らしさの表現方法を学ぼう。
- イメージを表現するための工夫をグループで発表し合う。
- 級友の作品を鑑賞し、表現からどんな人柄が伝わったかを伝え合い、見方や感じ方を広げる。

現の学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・級友がイメージを表現するためにどのような工夫をしたかを、感想などを交えながら鑑賞させる。

【評】造形的なよさや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本題材は、その人らしさをどのような方法で表現をするか、構成、画材、描画方法、道具の使い方まで考えさせたい。生徒の発想・構想を尊重して、生徒本人のねらいをもった豊かな表現制作をさせることで、美術作品を愛好していけるような指導を行い、また1年生での既習学習が今後の基本となり、次の学年では造形的な視点をより豊かにし、表現や鑑賞に関する資質・能力を高めさせることがねらいである。